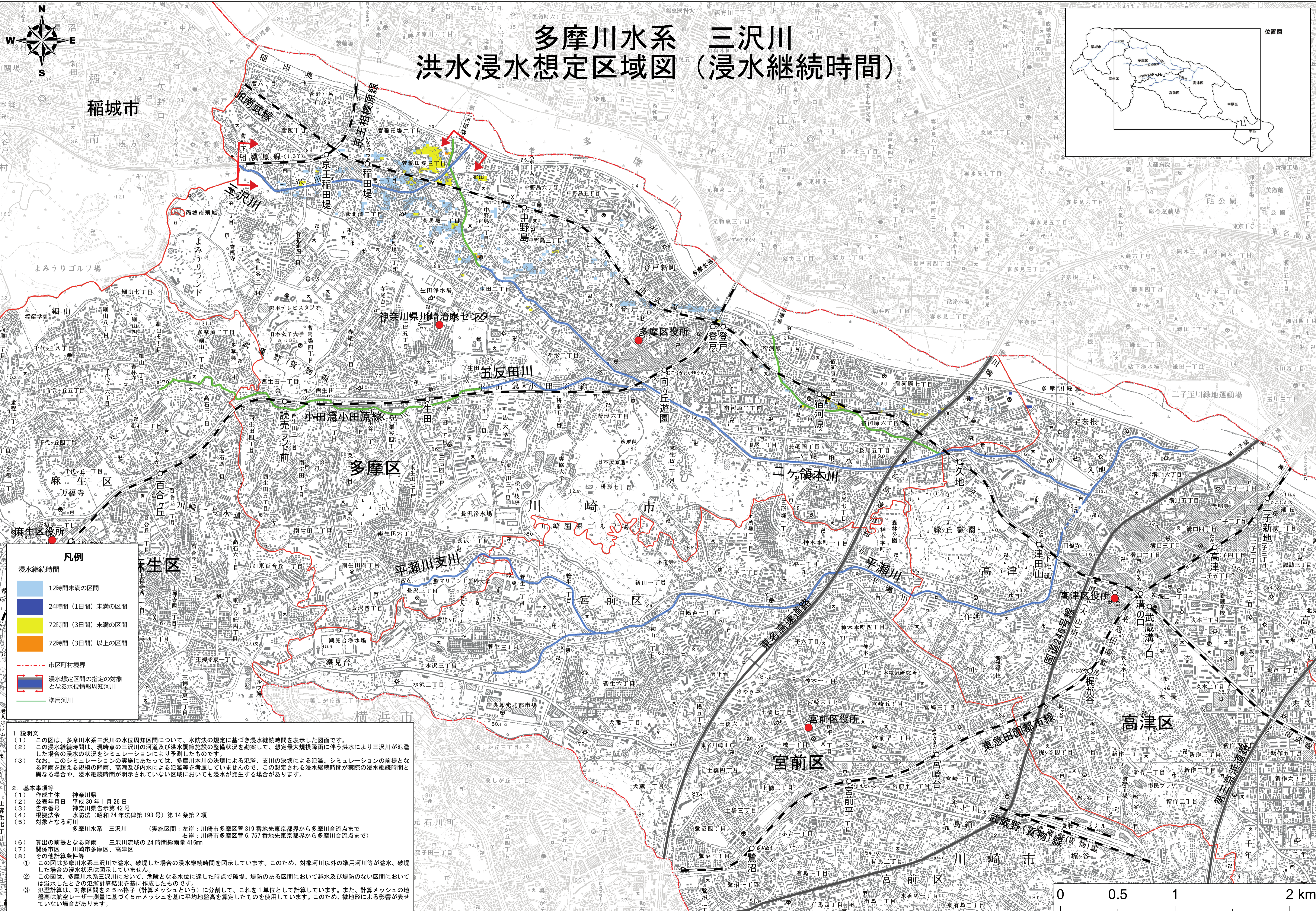


多摩川水系 三沢川 洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



凡例

- 浸水継続時間
- 12時間未満の区間
- 24時間(1日間)未満の区間
- 72時間(3日間)未満の区間
- 72時間(3日間)以上の区間
- 市区町村境界
- 浸水想定区間の指定の対象となる水位情報周知河川
- 準用河川

1 説明文

- この図は、多摩川水系三沢川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
- この浸水継続時間は、現時点の三沢川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により三沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、多摩川本川の決壊による氾濫、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2. 基本事項等

- 作成主体 神奈川県
- 公表年月日 平成30年1月26日
- 告示番号 神奈川県告示第42号
- 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- 対象となる河川 多摩川水系 三沢川 (実施区間: 左岸: 川崎市多摩区番319番地先東京都界から多摩川合流点まで 右岸: 川崎市多摩区番6,757番地先東京都界から多摩川合流点まで)

(6) 算出の前提となる降雨 三沢川流域の24時間総雨量416mm

(7) 関係市区 川崎市多摩区、高津区

(8) その他計算条件等

- この図は多摩川水系三沢川で溢水、破堤した場合の浸水継続時間を図示しています。このため、対象河川以外の準用河川等が溢水、破堤した場合の浸水状況は図示していません。
- この図は、多摩川水系三沢川において、危険となる水位に達した時点で破堤、堤防のある区間において越水及び堤防のない区間においては溢水したときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
- 氾濫計算は、対象区間を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量に基づく5mメッシュを基に平均地盤高を算定したものを使用しています。このため、微地形による影響が表されていない場合があります。